

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科昼夜間部		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	小児科学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	後期 6,7限他	教室名	401
担 当 教 員	井藤 尚之	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
言語聴覚士として、必要な小児科学の知識を身に着ける。						
《成績評価の方法と基準》						
定期テスト100% (試験素点が60点以上を合格とする)						
《使用教材(教科書) 及び参考図書》						
テキスト:言語聴覚士テキストー第4版ー 医歯薬出版株式会社 テキスト:小児科学・発達障害学ー第3版ー 医学書院						
《授業外における学習方法》						
事後学習として、講義資料やノートを適宜見直し、知識の定着に努めて下さい。						
《履修に当たっての留意点》						
保護者の立場にたつての理解も進めていただきたいと思います。						
授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	小児の諸症状、および、感染症対策について理解し、その概要について説明することができる	・ PCスライド ・ 配布資料(適宜)	事前学習として、テキストの該当項を一読しておく	
		各コマにおける授業予定	小児の諸症状、および、感染症対策の知識を身に着ける			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	小児の感染症について理解し、その概要について説明することができる	・ PCスライド ・ 配布資料(適宜)	事前学習として、テキストの該当項を一読しておく	
		各コマにおける授業予定	小児の感染症の知識を身に着ける			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	新生児からの、小児の発育・発達について理解し、その概要について説明することができる	・ PCスライド ・ 配布資料(適宜)	事前学習として、テキストの該当項を一読しておく	
		各コマにおける授業予定	新生児からの、小児の発育・発達の知識を身に着ける			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	小児のけいれん性疾患について理解し、その概要について説明することができる	・ PCスライド ・ 配布資料(適宜)	事前学習として、テキストの該当項を一読しておく	
		各コマにおける授業予定	小児のけいれん性疾患についての知識を身に着ける			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	小児の神経筋疾患について理解し、その概要について説明することができる	・ PCスライド ・ 配布資料(適宜)	事前学習として、テキストの該当項を一読しておく	
		各コマにおける授業予定	小児の神経筋疾患についての知識を身に着ける			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	小児の脳血管障害・脳腫瘍について理解し、その概要について説明することができる	・PCスライド ・配布資料(適宜)	事前学習として、テキストの該当項を一読しておく
		各コマにおける授業予定	小児の脳血管障害・脳腫瘍についての知識を身に着ける		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	小児の遺伝性疾患・中枢神経系先天異常について理解し、その概要について説明することができる	・PCスライド ・配布資料(適宜)	事前学習として、テキストの該当項を一読しておく
		各コマにおける授業予定	小児の遺伝性疾患・中枢神経系先天異常についての知識を身に着ける		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	第1回講義から第7回講義における重要項目について理解し、各キーワードについて説明できる。	・PCスライド ・配布資料(適宜)	講義ノートを一読しておく
		各コマにおける授業予定	第1回講義から第7回講義における重要項目について復習(総まとめ)する		
第9回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第10回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第11回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第12回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第13回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第14回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第15回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			